



C Piscine

C 06

Summary: このドキュメントはC Piscine @ 42の C 04モジュール用の課題です。

Contents

I	Instructions	2
II	Foreword	4
III	Exercise 00 : ft_print_program_name	5
IV	Exercise 01 : ft_print_params	6
V	Exercise 02 : ft_rev_params	7
VI	Exercise 03 : ft_sort_params	8

Chapter I

Instructions

- このページのみを参考にしてください。噂を信用しないで下さい。
- この書類は、提出前に変更になる可能性があります。十分に注意して下さい。
- ファイルとディレクトリへの権限があることをあらかじめ確認して下さい。
- 課題は全て提出手順に従って行って下さい。
- 課題の確認と評価は、あなたのクラスメイトが行います。
- 課題はMoulinetteと呼ばれるプログラムによっても確認・評価されます。
- Moulinetteは大変細かい評価を行います。全て自動で行われ、交渉方法はありません。頑張ってください。
- Moulinetteは規範を無視したコードは解読できません。Moulinetteはあなたのファイルが規範を遵守しているかをチェックするために、norminetteと呼ばれるプログラムを使って判断します。要約：せっかくの取り組みがnorminetteのチェックによって無駄になるのは勿体無いので、気をつけましょう。
- 課題は簡単なものから徐々に難しくなるように並べられています。簡単な課題が解けていない場合、難しい問題かが解けていたとしても **加点されることはありません**。
- 禁止されている関数をしようした場合は不正とみなします。不正者は-42の評価をつけられこの評価に交渉の余地はありません。
- プログラムを要求する際はmain()関数のみを提出しましょう。
- Moulinetteはこれらのフラッグを用いてgccでコンパイルします：-Wall -Wextra -Werror。
- プログラムがコンパイルされなかった場合、評価は0です。
- 課題で指定されているもの以外はどんなファイルもディレクトリ内に残しておくことはできません。
- 質問があれば右側の人に聞きましょう。それでも分からなければ左側の人に聞いてください。

- あなたを助けてくれるのはGoogle / 人間 / インターネット / ...と呼ばれているものです。
- intranet上のフォーラムの” C Piscine” パートかPiscineのslackを確認してください。
- 例を徹底的に調べてください。課題で言及されていない詳細まで要求されます。



Norminetteは、 `-R CheckForbiddenSourceHeader` をオプションに追加しなければなりません。その際、Moulinetteも使用します。

Chapter II

Foreword

Dialog from the movie The Big Lebowski:

The Dude: Walter, ya know, it's Smokey, so his toe slipped over the line a little, big deal. It's just a game, man.

Walter Sobchak: Dude, this is a league game, this determines who enters the next round robin. Am I wrong? Am I wrong?

Smokey: Yeah, but I wasn't over. Gimme the marker Dude, I'm marking it 8.

Walter Sobchak: [pulls out a gun] Smokey, my friend, you are entering a world of pain.

The Dude: Walter...

Walter Sobchak: You mark that frame an 8, and you're entering a world of pain.

Smokey: I'm not...

Walter Sobchak: A world of pain.

Smokey: Dude, he's your partner...

Walter Sobchak: [shouting] Has the whole world gone crazy? Am I the only one around here who gives a shit about the rules? Mark it zero!

The Dude: They're calling the cops, put the piece away.

Walter Sobchak: Mark it zero!

[points gun in Smokey's face]

The Dude: Walter...


Walter Sobchak: [shouting] You think I'm fucking around here? Mark it zero!

Smokey: All right, it's fucking zero. Are you happy, you crazy fuck?

Walter Sobchak: ...It's a league game, Smokey.

Chapter III

Exercise 00 : ft_print_program_name


	Exercise 00
ft_print_program_name	
提出するディレクトリ : <i>ex00/</i>	
提出するファイル : <i>ft_print_program_name.c</i>	
使用可能な関数 : <i>write</i>	

- ここではプログラムを扱っているため、*.c* ファイルにmain関数を入れてください。
- そのプログラムの名前を表示するプログラムを作成しましょう。
- 例

```
$> ./a.out
./a.out
$>
```

Chapter IV

Exercise 01 : ft_print_params


	Exercise 01
	ft_print_params
	提出するディレクトリ : <i>ex01/</i>
	提出するファイル : <i>ft_print_params.c</i>
	使用可能な関数 : <i>write</i>

- ここではプログラムを扱っているため、*.c* ファイルにmain関数を入れてください。
- 与えられたコマンドライン引数を表示するプログラムを作成しましょう。
- 1行ごとに、コマンドラインと同じ順番で1行ごとに表示しましょう。
- *argv[0]*を除く全てのコマンドライン引数が表示されるはずです。
- 例

```
$>./a.out test1 test2 test3
test1
test2
test3
$>
```

Chapter V


Exercise 02 : ft_rev_params

	Exercise 02
	ft_rev_params
	提出するディレクトリ : <i>ex02/</i>
	提出するファイル : <i>ft_rev_params.c</i>
	使用可能な関数 : <i>write</i>

- ここではプログラムを扱っているため、.c ファイルにmain関数を入れてください。
- 与えられたコマンドライン引数を表示するプログラムを作成しましょう。
- 1行ごとに、コマンドラインと反対の順番にしましょう。
- argv[0]を除く全てのコマンドライン引数が表示されるはずです。

Chapter VI

Exercise 03 : ft_sort_params

	Exercise 03
	ft_sort_params
	提出するディレクトリ : <i>ex03/</i>
	提出するファイル : <i>ft_sort_params.c</i>
	使用可能な関数 : <i>write</i>

- ここではプログラムを扱っているため、*.c* ファイルにmain関数を入れてください。
- 与えられた引数をascii順に並び替えて表示するプログラムを作成しましょう。
- *argv[0]*を除く全てのコマンドライン引数が表示されるはずです。
- 1行ごとに1引数です。